

題材名「江戸時代の暮らし」

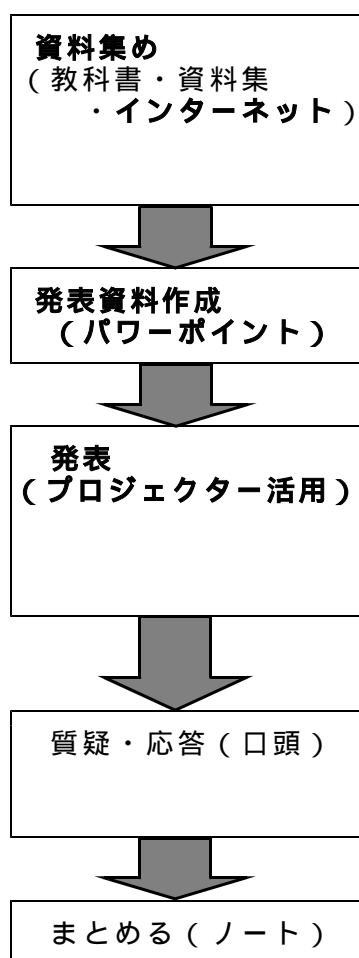
目 標

- ・ 歴史的事象に関心を持ち、我が国の歴史の大きな流れと特色を世界の歴史を背景に押さえ、我が国の文化と伝統の特色を理解させる。
- ・ 自ら調べ資料を作成し表現することで、まとめる力や発表する態度・社会的思考力を育てる。

コンピュータを活用する利点

- ・ プレゼンテーションソフトを活用することにより、模造紙等紙での資料作りに比べ簡単に作成できるだけでなく、写真や資料を有効に活用することができる。
- ・ プロジェクターを活用することで資料を大きく全員に一度に提示することができる。
- ・ コンピュータを活用することにより学習意欲の向上が期待できる。

授業の流れ



I C T 活用場面

- ・ 教科書、資料集の写真や表を使用するだけでなく、インターネットを活用することにより、専門的な資料や表を活用ことができ、深く学ぶことができる。
(2時間)

・ 右の写真は、生徒が作成した幕末の「開国」の単元の発表風景である。生徒は発表資料をもとに、授業をすすめる。

・ プロジェクターを活用し発表する。一人一節を担当し、毎時間、生徒による発表・討議形式で授業を展開する。(1クラス32人で32節32時間)

・ 毎時間15分の発表時間と15分の質疑応答の時間をとる。自分の言葉で発表し、自分の言葉で答えることにより、発表する態度や社会的思考力を育てることができる。

- ・ 発表した事、学習した事のまとめをする。



成果と課題

プレゼンテーションソフトを活用することにより、主体的に学習する姿勢が身に付いただけでなく、まとめる能力が高まり積極的に発表する態度を身につけることができた。ただ、授業が個々の調べた内容と発表能力に左右されることがあった。授業を深めるためには各節の目標を明確にし、着眼点を押さえた発表・討議が展開できるように指導しなければならない。

I C T 活用環境等

使用周辺機器	パソコン、プロジェクター
使用ソフト	Microsoft PowerPoint
使用教室	P C 教室、普通教室